

エゾノレンリソウ

マメ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

Lathyrus palustris L. ssp. *pilosus* (Cham.) Hultén

国カテゴリー

該当なし

選定理由

県内における生育地が限られ、環境が人為による影響を受けやすい。(現況:R-)

形態

多年生草本。茎は直立して高さ30～80cm、3稜形で細い翼がある。多少つる性で、巻きひげは枝分かれする。小葉は2～6枚。花は紫色の蝶形花で、葉腋から出る総状花序に4～8花をつける。

国内分布

北海道、本州、対馬。

県内分布

舩倉島・七ツ島植物小区系、外浦区、中能登区。

生態など

花期は5～8月。根茎は細長く、横走して著しく分枝し、新しい根茎の先端には越冬芽をつける。

生育環境

海岸の草地。

危険要因

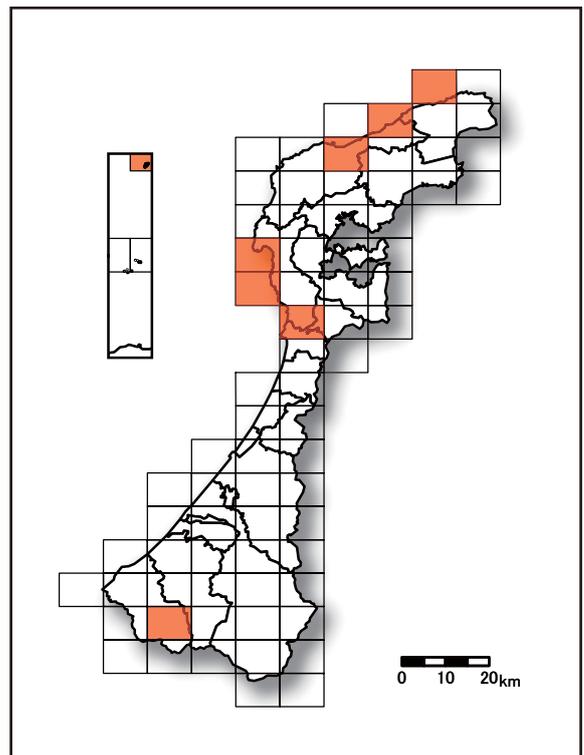
森林伐採、海岸開発、草地開発、道路工事、自然遷移。

特記事項

本種については県内での種内変異が知られており、現在、研究中である。



小野ふみゑ・2008年6月7日・輪島市



県内の分布